

学力向上推進員研修会

「徳島版読解力」について

令和6年度からは、

すべての教科等にわたる
「徳島版読解力」を活かした
学力向上のポイント

に取り組みます。

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を活かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

展開（協働学習）

- C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
- D 交流を生かして考えを表現する

振り返り（個別学習）

- E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

これまで、

国語力向上タスクフォースの提案の各教科等の授業への活用の推進と状況の把握

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント

(国語力向上タスクフォースの提案から)

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

本県の児童生徒に身に付けさせたい力 ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

- 文章の中心的な部分と付加的な部分、題意理解の部分と具体例、まとめの部分などを読み分けて要旨を捉えたり、問いの趣意やその解決に必要な経路を正しく理解したりする力。
- 目的に応じて必要な情報を集めるための見出しをもとに読み、根拠として取り上げている内容が適切であるかどうかを判断したり、また、その根拠が適切である理由が明確になるように自分の考えをまとめたり、表現上の工夫をしたりする力。
- 相手の意見を伝えながら自分の考えを明確にもち、その考えを深めるために、場に応じた適切な言葉遣いで話したり、書いたりしながら、互いに伝え合う力。

正確に読み取らせるためには！！ —教科書の内容や読取文の趣意、グラフ等が示す意味などの読み取り—

何が書かれているかを的確に捉えさせよう！

- アンダーライン、丸や四角での囲み、罫や表 などで → 重要な部分、題意理解の部分と具体例、まとめの部分などを、読み分けさせる。
- 主語と述語や、指示語、修飾語などに注目して、読み取らせる。
- 組み合わせや、相互関係を整理して、まとめさせる。

主体的・対話的で深い学びの視点からは！！

自分の思いや考えを「書く」場面を増やそう！

- メモ、付箋、ホワイトボード などで → 箇条書きで整理させる。
- 思いついたことを、たくさん書き留めさせる。
- 書き足したり、削ったりして推敲させる。

自分の思いや考えを深めるために相手の意見を取り入れる場面を増やそう！

- スピーチ、ペア学習での意見交換、グループでの話し合い、班、ポスターセッション などで → 出し合う交流活動→様々な資料から情報を出し合わせる。
- 比べ合う交流活動→考え方を比較したり参考にしたりさせる。
- 高め合う交流活動→根拠を明確にして意見を述べ合ったり、整理し合ったりさせる。
- 磨き合う交流活動→納得した知識や技能を活用させる。

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

- ノート、ワークシート、振り返りシート などで → 課題の答えを確認させ、自分の考えをまとめさせる。
- 課題を解決した達成感と、次の課題意識をもたせる。
- 振り返りの振り返りだけでなく、共有によって認め合わせる。

深い学びにつながる三つの発問は！！

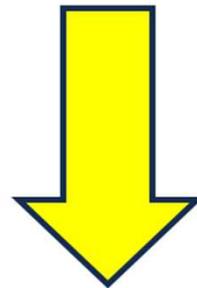
- 別の言葉に言い換えてみよう。
例「きれい」ってどんな様子なんだろう。別の言い方をしてみよう。
例「たとえ」(比喩)を使って表したら、何と書けるだろう。
- 比べてみよう。関連づけてみよう。
例「きれい」と「美しい」ってどう違うだろう。
例「何が」とつながっていないかな。
例 前にも同じことがなかったかな。
- その考えた根拠と理由は何だろう。
例「なぜ」「どうして」を互いに言い合ってみよう。
例「答え」のあとにならば「言葉」の根拠は、それだろう。
例「言葉」(根拠)をもとに、なぜそう考えたかを説明しよう。



徳島県教育委員会

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。



新たな取組へ

・示された文章等から情報を読み取る力



・自分の考えを形成するために大量の情報を取捨選択したり、視覚的に情報を読み取ったりすることで

→情報を活用したり、解釈したりする力

「国語カタスク フォースの提案」を ブラッシュアップした もの

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

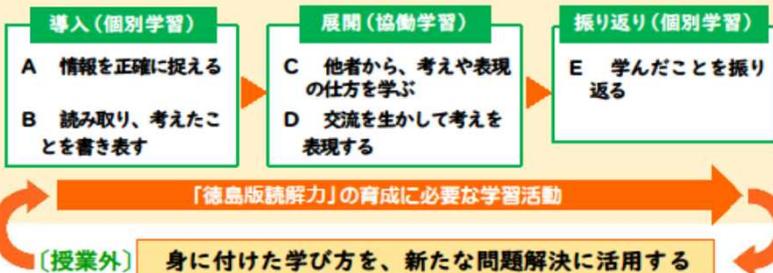


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

展開（協働学習）

- C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
- D 交流を生かして考えを表現する

振り返り（個別学習）

- E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

学習場面		学習活動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの活用例
授	導入 (個別学習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。 1・4 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。 1 ○心に残る表現や大事だと思うところを探す。 1 ○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と考えを区別したりする。 2 ○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。 3・4 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。 1・2 ○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。 3 2	【音読、黙読、視写、聴写】 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事典】	【インターネット】
		B 読み取り、考えたことを書き表す	○思いついたことを書き留める。 1・2 ○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。 3・5 ○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。 4・5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
業	展開 (協働学習)	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。 1 ○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や回答をする。 2 ○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。 3 ○他者と協力して問題を解決する。 4 5	【相互評価、コメント】 【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、スピーチ】 【ポスターセッション】 【質問、回答】 【図、表、思考ツール】	【チャット】 【学習支援クラウドアプリ】
		D 交流を生かして考えを表現する	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。 1・2 ○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。 4・5 ○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。 2・3	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
業	振り返り (個別振り返り)	E 学んだことを振り返る	○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを見直し、表現する。 3・4 ○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことも記録に残す。 5 ○新たにもった疑問や、次に向けての目標を書き留める。 2・4 ○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。 3・5 4・5	【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】 【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】	【メモ・付箋機能】 【画像、動画】 【学習支援クラウドアプリ】
		授 業 外	身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する	○興味・関心のあることや、予習・復習で芽生えた疑問に關係する情報を集める。 1・3 ○読書や会話を通して、生活の中で出会う様々な問題に関心を持ち、読解力を高める。 4 ○集めた情報を読んだり、心に留まったことを記録したりする。 1 2・3 ○学習したツール等を使って、多様なメディアに触れ、見たり、読んだり、聞いたり、表現したりする。 2・5	【書籍】 【家族や友達などの他者】 【書籍】 【会話】 【自主学習ノート】 【書籍】 【新聞】

学習場面		学習活動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例	
授	導入 (個別学習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。	1・4	【音読、黙読、視写、聴写】	【インターネット】
			○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。	1		
			○心に残る表現や大事だと思うところを探す。	1	【傍線や下線を引く】	
			○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と考えを区別したりする。	2	【丸や四角で囲む】	
			○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。	3・4	【線でつなぐ】	
			○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。	1・2	【図、表、思考ツール】	
業	展開 (協働学習)	B 読み取り、考えたことを書き表す	○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。	2	【辞典、事典】	
			○思い付いたことを書き留める。	1・2	【メモ】	
			○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。	3・5	【付箋】	
			○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	4・5	【ノート、ワークシート】	
					【ホワイトボード】	
					【図、表、思考ツール】	
業	展開 (協働学習)	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。	1	【相互評価、コメント】	【チャット】 【学習支援クラウドアプリ】
			○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。	2	【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、	
			○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。	3	スピーチ】	
			○他者と協力して問題を解決する。	4	【ポスターセッション】	
				5	【質問、応答】	
					【図、表、思考ツール】	
業	展開 (協働学習)	D 交流を生かして考えを表現する	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。	1・2	【メモ】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
			○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。	4・5	【付箋】	
			○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	2・3	【ノート、ワークシート】	
					【ホワイトボード】	
					【線でつなぐ】	
					【図・表・思考ツール】	

すべての各教科等において 「徳島版読解力」の 育成を目指しましょう！



すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★全ての教科等での取組
- ★学習方法・ツールの工夫
- ★授業、授業外での繰り返し

